



2026.8.6

2027年3月期 第1四半期 決算説明会資料

セイノーホールディングス株式会社（9076）

目次

01

2027年3月期 第1四半期 決算概要

02

輸送事業について

03

業績予想の修正について

Appendix

本日お伝えしたいこと



- **【1Q連結：増収・増益】** 2027年3月期第1四半期決算は、売上高、営業利益、四半期純利益のいずれも前年同期を上回り、過去最高の業績を達成しました。全セグメントで増収・増益となっております。
- **【輸送：増益】** 特積みにおいては、 $+ \alpha$ の価値提供による適正運賃の収受に継続して取り組んだ結果、Kg単価は引き続き上昇しました。加えて、原油価格の高騰に起因する特需を取り込んだことなどにより、第1四半期全体で物量が計画を上回り、営業利益は前年同期比39%増となりました。
- **【自動車販売：増益】** 自動車販売事業では、乗用車新車販売の好調に加え、環境性能割廃止に伴う前期からの需要ずれ込みなどもあり、新車販売台数が増加し、営業利益は前年同期比24%増となりました。
- **【2Q予想：上方修正】** 輸送事業および自動車販売事業における第1四半期の好調な業績を踏まえ、第2四半期業績予想を上方修正しました。一方で、中東情勢の影響などにより、輸送事業における物量動向に不透明感があることから、現時点では通期予想を据え置いております。第2四半期までの進捗や事業環境を見極めた上で、必要に応じて見直します。
- 引き続き、収益性の高いロジスティクス事業および貸切事業の成長を加速するとともに、O.P.P.による生産性向上とTeam Green Logisticsの推進を通じて、企業価値の向上と物流業界の社会課題解決の両立を目指してまいります。



01

2027年3月期 第1四半期 決算概要

P / L : 増収・増益



第1四半期決算は、過去最高の業績

(単位:百万円) %	25.06	26.06	前年同期比	上期進捗率
売上高	199,571	213,765	+7.1%	52.7%
売上総利益	23,504	27,938	+18.9%	
(粗利益率)	11.8%	13.1%	+1.3pt	
販売管理費	14,298	15,385	+7.6%	
営業利益	9,205	12,553	+36.4%	64.7%
(営業利益率)	4.6%	5.9%	+1.3pt	
経常利益	9,812	13,969	+42.4%	70.2%
親会社株主に帰属する 第1四半期純利益	5,653	8,612	+52.3%	69.5%

売上高 前年同期比 +7.1%

輸送事業や自動車販売事業などでの売上増加により、141億円の増収

営業利益 前年同期比 +36.4%

増収に加え、効率化により費用増加を抑制したことなどで、33億円の増益となり、営業利益率は5.9%と大幅な増加

経常利益 前年同期比 +42.4%

営業利益の増加に加え、持分法投資利益8億円の増加などもあり、41億円の増益

四半期純利益 前年同期比 +52.3%

経常利益の増加に加え、トンネル車両火災の事故関連損失29億円を特別損失に計上したものの、持分法適用会社の組織再編に伴う関係会社株式交換益31億円を特別利益に計上したこともあり、四半期純利益は29億円の増益

事業の概要：全セグメントで増収・増益



(単位:百万円)	売上高 (前年同期比) 【上期進捗率】	営業利益 (前年同期比) 【上期進捗率】	26.06 事業概況	KPI
輸送事業	162,612 (+4.9%) 【52.1%】	8,738 (+39.3%) 【62.4%】	売上高 適正運賃収受の推進に加え、原油価格高騰による特需を取り込んだことや、ロジスティクスや貸切などの伸長もあり、76億円の増収 営業利益 売上高の増加に加え、運行便の効率化などにより、営業費用を3.4%の増加に抑えたことで、24億円の増益	特積 前年同期比 物量 102.9% (西濃運輸：一般+ミニ) (グループ：101.9%) kg単価 102.0% (西濃運輸：一般) (グループ：102.0%) ロジスティクス 前年同期比 売上 109.3% (発送運賃除く) 貸切 前年同期比 売上 113.7% (西濃運輸)
自動車販売事業	32,715 (+19.4%) 【56.4%】	2,822 (+24.9%) 【72.4%】	売上高 乗用車は、コンパクトカーや大型SUVなどの販売好調や、環境性能割の廃止に伴う前期からのずれ込みもあったことから、販売台数が増加。トラックにおいても、環境性能割の廃止による需要繰り延べによる当期へのずれ込みにより販売台数が増加 営業利益 乗用車およびトラックの新車販売の増加の他、中古トラックの販売増、整備等の拡大により増益	国内新車販売台数 前年同期比 乗用車 4,843台 (111.4%) トラック 666台 (129.6%)
物品販売事業	10,653 (+7.9%) 【52.2%】	400 (+15.1%) 【64.6%】	介護用品を中心とした家庭紙の販売が好調であったことから、増収・増益	
不動産賃貸事業	644 (+5.8%) 【51.5%】	476 (+6.3%) 【51.8%】	賃料改定が寄与し、増収・増益	
その他	7,140 (+6.8%) 【52.3%】	663 (+30.5%) 【60.4%】	住宅販売事業、情報サービスなどが好調となり、増収・増益	

営業費用（連結）



売上高が前年同期比7.1%増加する中、
費用伸び率を5.7%に抑制し、連結営業利益の増益につなげた

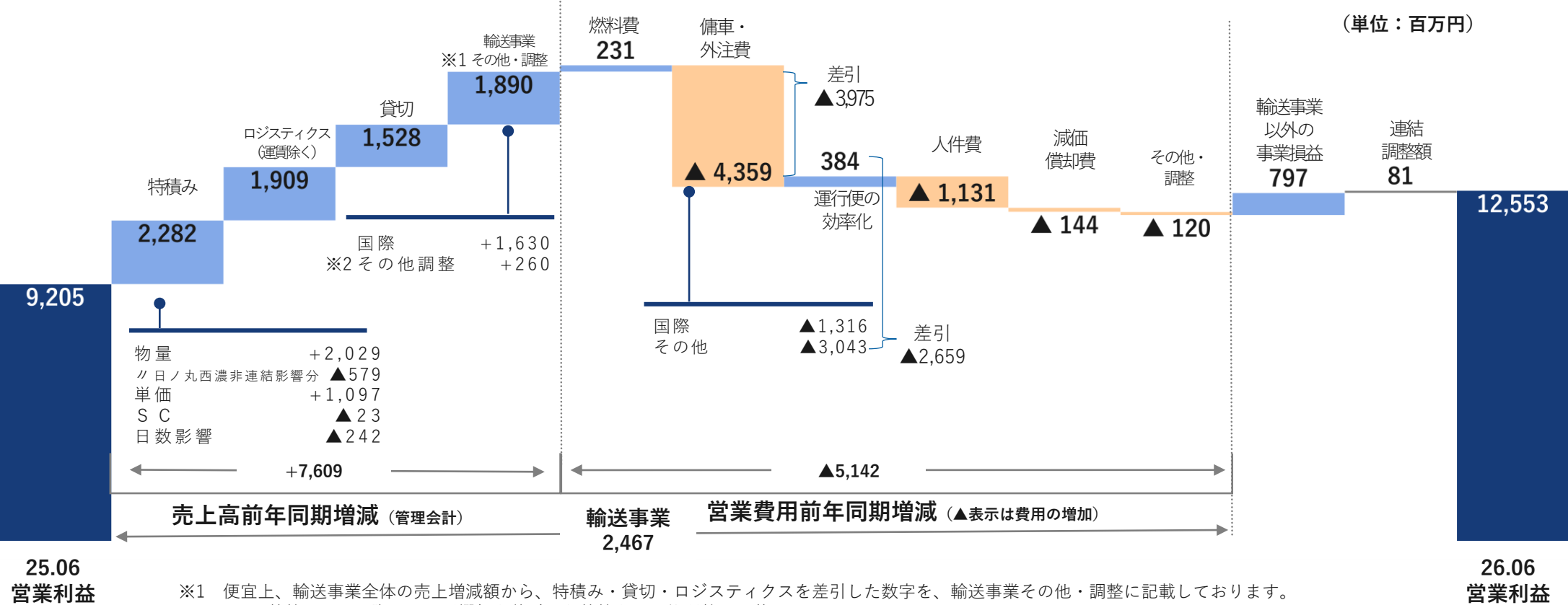
（単位:百万円）	25.06	26.06	前年同期比	コメント
人件費	60,966	62,190	+1,223 (+2.0%)	輸送事業での増加 1,131 輸送事業以外での増加 92
燃料費	4,692	4,459	▲232 (▲5.0%)	輸送事業での減少 ▲231 輸送事業以外での減少 ▲1
減価償却費	6,210	6,455	+244 (+3.9%)	建物及び構築物 143 ソフトウェア 50
備車料・取扱手数料・外注費	63,990	67,966	+3,975 (+6.2%)	国際売上原価の増加 1,316 〃 以外の増加 (※) 2,659 (※) 運行便の効率化効果384百万円控除後の数値
その他	54,506	60,140	+5,634 (+10.3%)	商品仕入原価の増加（自動車販売事業） 4,517 商品仕入原価の増加（物品販売事業） 1,087
営業費用合計	190,365	201,212	+10,846 (+5.7%)	連結売上増加率 7.1%

連結営業利益の増減要因（前年同期比）



輸送事業では、特積みの適正運賃収受の進展や特需の取り込み、ロジスティクス・貸切の伸長により、売上増加が費用増加を上回り営業利益は39%増となり、連結営業利益の増益（36%増）をけん引した

（単位：百万円）





02

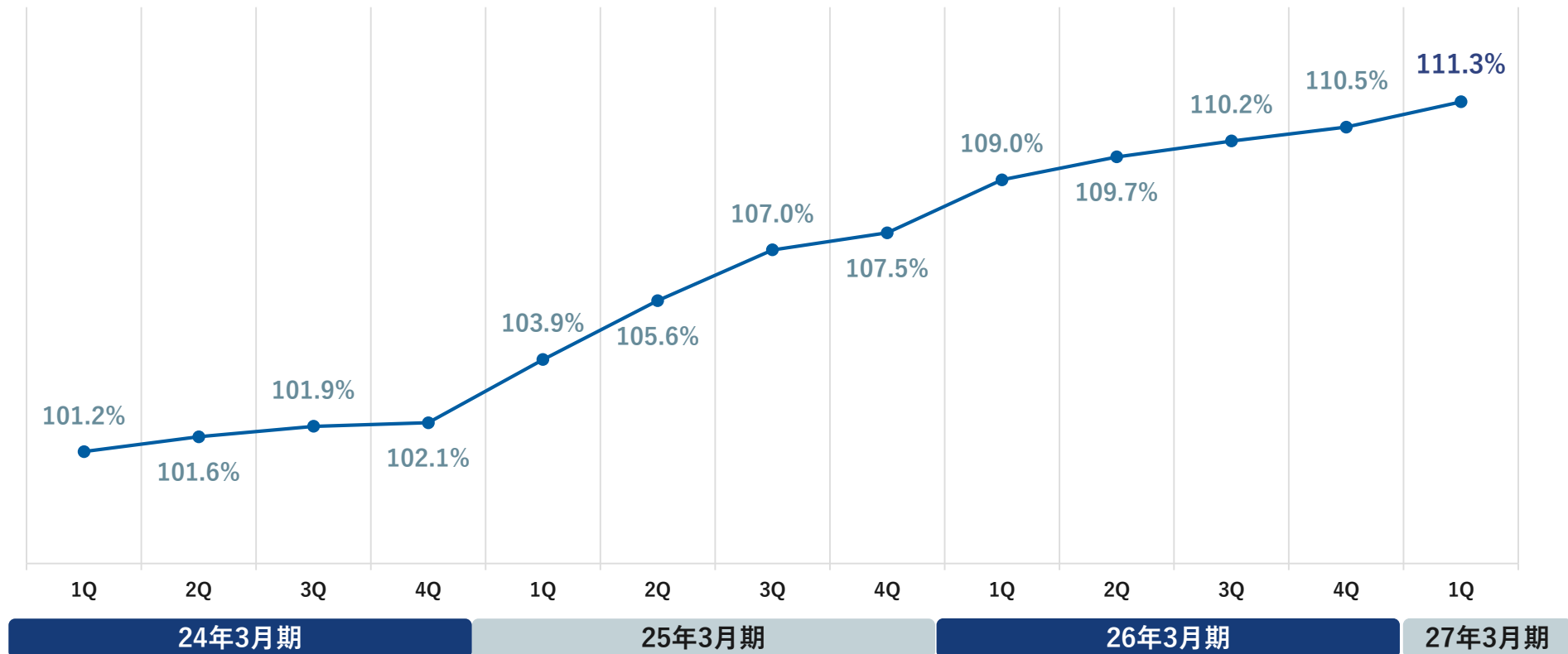
輸送事業について

kg単価の推移（22年度同期比）



継続的な運賃改定効果により、kg単価は右肩上がりを継続

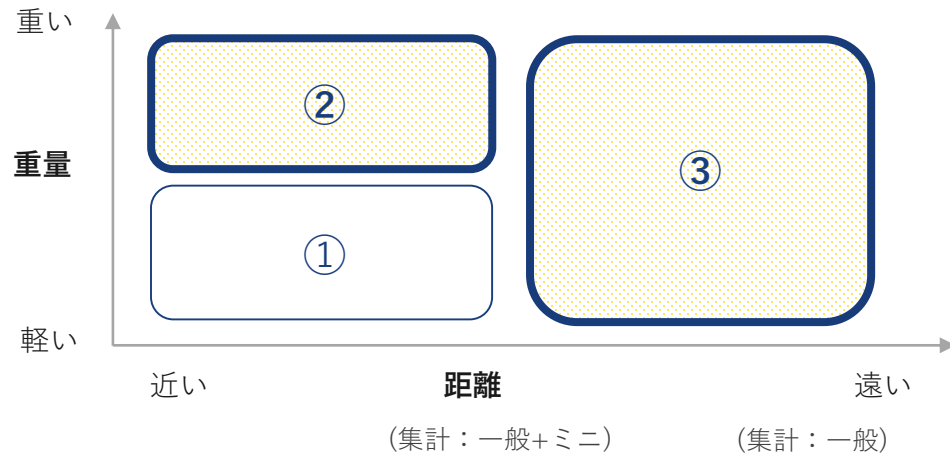
（集計：西濃運輸 一般便）



重量・距離帯別の分析（西濃運輸）



重量・距離帯別領域



重量・距離帯別 前年比（4-6月）

重量帯／距離帯	日当り物量	kg単価
①300kg以下／500km以下	100.7%	102.2%
②300kg超／500km以下	106.3%	102.3%
③500km超	103.7%	102.1%
全体	102.9%	102.0%（※）

※タリフの特性上、高重量帯の物量増により平均kg単価の伸び率が低い

物量(4-6月)

計画 100.2% 第1四半期日当り物量 102.9%

- ・第1四半期の日当り物量は、102.9%と計画（100.2%）を大きく上回り好調に推移
- ・2026年3月下旬から6月中旬の原油高騰による特需を取り込み、第1四半期の好調を支えた
- ・高重量・短距離帯（地帯②）の伸長が特に大きく、物量増加を牽引
- ・小口・高付加価値・協業案件の拡販を推進

単価(4-6月)

計画 102.7% 第1四半期kg単価実績 102.0%

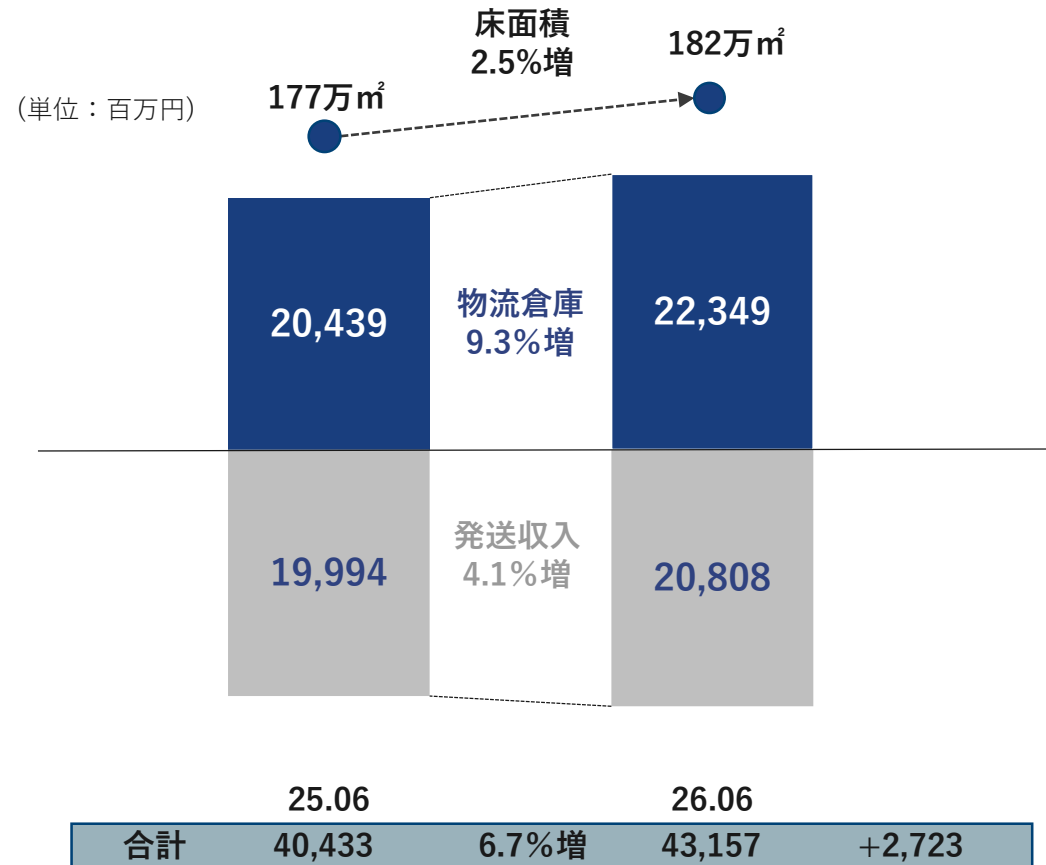
- ・継続した運賃交渉により22年度比kg単価は堅調に推移したものの特需商品の性質（ロット化）により平均kg単価の伸び率が鈍化
- ・物量バランスを重視しながら顧客別採算を考慮した交渉を社内に浸透させていく
- ・新届出運賃（2026年運賃）を8月21日にリリース



ロジスティクス・貸切事業の状況

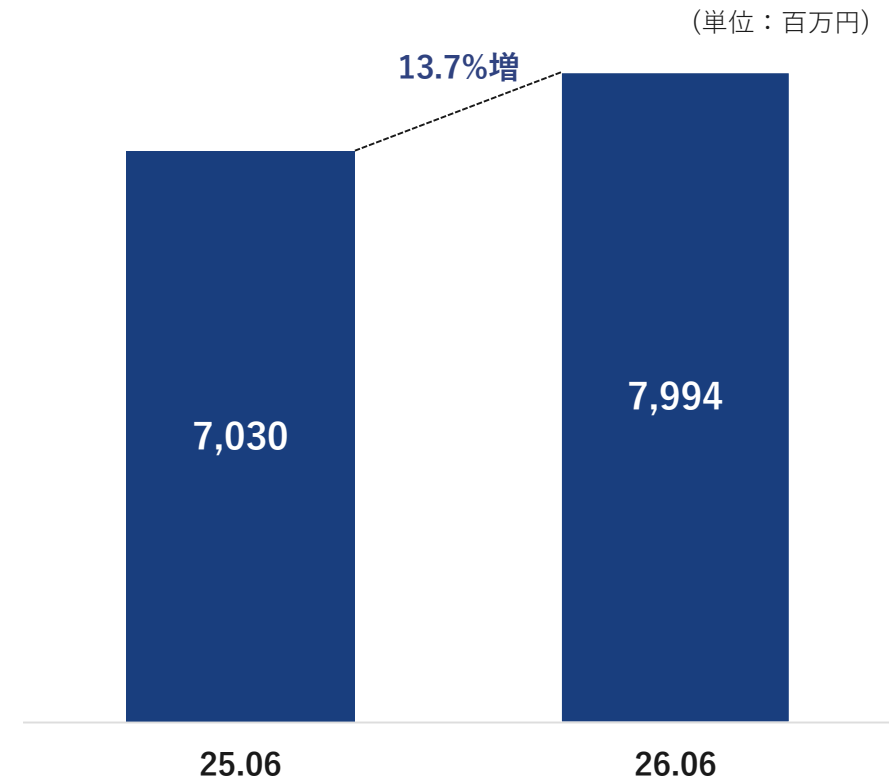
ロジスティクス | 売上高（管理会計）

前期開設施設の稼働率が上がり売上増加に寄与



貸切 | 売上高（西濃運輸：管理会計）

貸切需要の高い重点業種をターゲットとして深耕営業を推進
配車センターの増設、協力会社ネットワークの拡充を図り、
前年比13.7%の成長を実現





03 業績予想の修正について

2027年3月期 第2四半期（中間期）業績予想修正

第1四半期までの進捗を鑑み、輸送事業・自動車販売事業を上方修正



中東情勢の影響などにより、輸送事業における今後の物量動向に不透明感があることから、現時点では通期業績予想を据え置いております

単位:百万円	26.09 (修正後)	26.09 (当初)	増減額	増減率	25.09 (実績)	増減額 (前年同期)	増減率 (前年同期)	コメント (修正差分)
売上高	408,500	405,500	+3,000	+0.7%	398,559	+9,940	+2.5%	
輸送事業	313,200	312,200	+1,000	+0.3%	308,925	+4,274	+1.4%	【輸送事業】 <物量想定> 上期 101.5% (+0.9pt) <単価想定> 上期 102.3% (▲0.5pt)
自動車販売事業	60,000	58,000	+2,000	+3.4%	54,579	+5,420	+9.9%	
物品販売事業	20,400	20,400	0	-	20,326	+73	+0.4%	
不動産賃貸事業	1,250	1,250	0	-	1,215	+34	+2.9%	【自動車販売事業】 <新車販売台数> 乗用車 8,670台 (+80台) トラック 1,286台 (± 0台)
その他	13,650	13,650	0	-	13,512	+137	+1.0%	
営業利益	20,400	19,400	+1,000	+5.2%	18,101	+2,298	+12.7%	
輸送事業	14,300	14,000	+300	+2.1%	12,201	+2,098	+17.2%	
自動車販売事業	4,600	3,900	+700	+17.9%	4,187	+412	+9.8%	
物品販売事業	620	620	0	-	721	▲101	▲14.0%	
不動産賃貸事業	920	920	0	-	894	+25	+2.9%	
その他	1,100	1,100	0	-	1,241	▲141	▲11.4%	
調整額	▲1,140	▲1,140	0	-	▲1,145	+5	-	
経常利益	21,000	19,900	+1,100	+5.5%	18,495	+2,504	+13.5%	EPS 76.88円 (+0.61円)
親会社株式に帰属する 四半期純利益	12,500	12,400	+100	+0.8%	10,757	+1,742	+16.2%	

Appendix

2027年3月期 業績予想（通期）

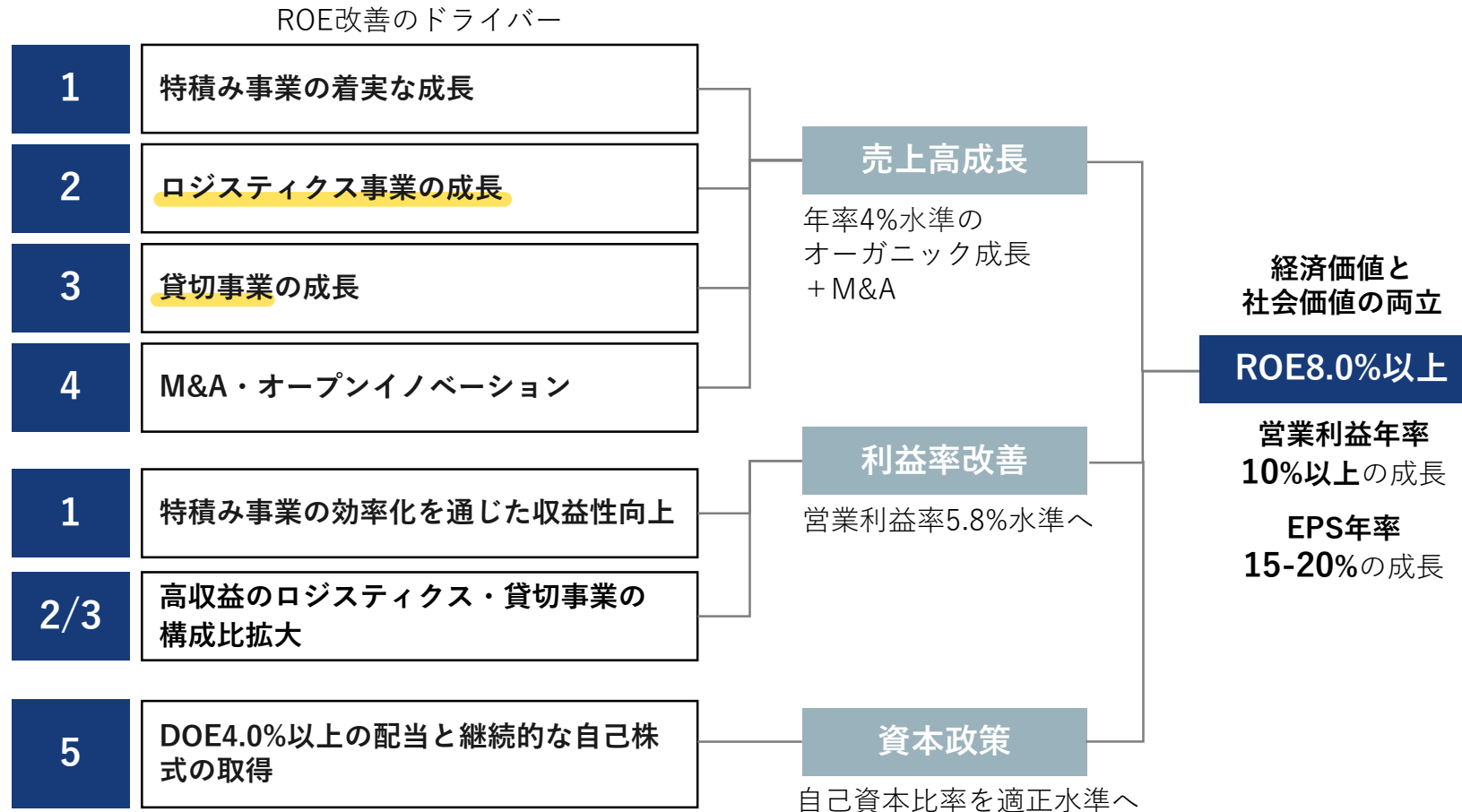


(単位:百万円)	27.03 (予想)	26.03 (実績)	増減額 (前年)	増減率 (前年)	コメント
売上高	825,500	812,965	+12,534	+1.5%	【輸送事業】 <特積み（西濃運輸）> 物量 101.5%（日当り） 単価 102.8%（一般） 日数 99.3% <（参考）日ノ丸西濃 連結除外影響> （26.03期単体決算実績） 売上 5,813百万円 営業利益 120百万円
輸送事業	639,800	630,890	+8,909	+1.4%	
自動車販売事業	112,000	110,346	+1,653	+1.5%	
物品販売事業	41,700	40,926	+773	+1.9%	
不動産賃貸事業	2,500	2,456	+43	+1.8%	
その他	29,500	28,345	+1,154	+4.1%	
営業利益	41,400	37,605	+3,794	+10.1%	【自動車販売事業】 <新車販売台数> 乗用車 16,770台（106.5%） トラック 2,104台（104.1%）
輸送事業	31,840	27,425	+4,414	+16.1%	
自動車販売事業	6,440	6,917	▲477	▲6.9%	
物品販売事業	1,340	1,314	+25	+1.9%	
不動産賃貸事業	1,850	1,810	+39	+2.2%	
その他	2,080	2,270	▲190	▲8.4%	
調整額	▲2,150	▲2,133	▲16	-	
経常利益	41,800	37,264	+4,535	+12.2%	
親会社株式に帰属する 当期純利益	27,500	23,638	+3,861	+16.3%	EPS 169.08円（+12.08円） ROE 6.1%（+0.5pt）

ロードマップ2028～逆ROEツリー～



ロードマップ2028に基づきロジスティクス事業と貸切事業の推進を加速させます



本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

お問合せ先

セイノーホールディングス株式会社

〒503-8501 岐阜県大垣市田口町 1 番地

TEL : 0584-82-5023 FAX : 0584-82-5043

<http://www.seino.co.jp/seino/shd/>

E-mail : i.r@seino.co.jp